

やくしん

【 204号 】

2023年5月29日発行

民社協会東出雲支部機関紙

森本ひでとし議会だより/後援会だより

発行・編集 民社協会東出雲支部

松江市東出雲町揖屋667-1

新庁舎で心機一転スタート



【1期工事が完了した市役所新庁舎（5月2日撮影）】

令和2年春より発生した新型コロナ禍。5月8日には感染症2類から5類に変わることからなのか、今年の5月連休は各地で賑わいが戻ってきたように感じます。社会活動や経済活動がこれから本格的に再開し始めることとなります。ただ、一度停滞した地域活動を以前のように立て直すには、相当のエネルギーが必要であると思います。実はコロナ禍以前より、少子高齢化や人口減少により地域力の衰退が危惧されてきました。昨年策定された松江市総合計画は2年目となります。計画を着実に進めていくためにも、まずは地域力を取り戻していくことが必須であると思いますがいかがでしょうか。

さて、松江市議会2月定例会が2月21日から3月24日まで開会されました。令和5年度当初予算、令和4年度補正予算、条例案件等、75件の議案が上程され、全て原案通り可決いたしましたので、ご報告いたします。



松江市議会議員
森本 ひでとし

松江市総合計画の創造に向けた予算編成

令和5年度
一般会計当初予算

令和5年度一般会計当初予算は、総額1,035億1,500万円で松江市総合計画の創造に向けた予算編成となっています。

歳入については、地方財政対策に沿い地方交付税の増額を見込んでおり、更に財政調整基金の取崩し、減収補填債の発行等により必要額を確保しています。

歳出では、総合文化センターの整備が本格化することや、光熱費の高騰による物件費の増加等を見込んでいます。また、引き続き新型コロナ対策をしつつ、「夢を実現できるまち誇れるまち松江」の創造に向けて動き出すとして、松江市総合計画の5つの柱に沿う事業に重点配分されています。主なものとして、新型コロナ対策には8億9,818万円、カラコ工房リニューアルに3億5,609万円、プラバホール改修に14億6,613万円、東出雲複合施設等に6億6,655万円などが計上されています。



今年6月に完成予定の東出雲複合施設。ここを拠点に新たなまちづくりが進められます。

令和5年度一般会計予算の歳入歳出のポイント

上段:R5年度 下段:R4年度・増減割合 (単位:千円)

	科目	予算額	備考
歳入	市税	28,762,665 (28,581,217) +0.6%	成年年齢引下げや給与所得の増加による増額。
	地方交付税	21,463,236 (21,089,447) +1.8%	地域のデジタル化の推進、市有施設の光熱費高騰対応による増額。
	国庫支出金	18,852,867 (19,214,154) ▲1.9%	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業費減額に伴う。
	繰入金	3,600,179 (3,315,489) +8.6%	市有施設の光熱費の増加への対応により増額。
	市債	10,087,300 (11,189,200) ▲9.8%	新庁舎建設事業費の縮小に伴い減額。
	歳出	人件費	16,804,193 (16,590,819) +1.3%
扶助費		25,089,508 (24,824,902) +1.1%	私立保育所運営費の公定価格引上げによる。障がい福祉サービスの増額。
公債費		10,752,518 (11,462,820) ▲6.2%	R3年度以前の市債発行抑制や繰り上げ償還の効果により減。
投資的経費		13,358,680 (14,392,303) ▲7.2%	新庁舎は第1期工事了りによる減額。プラバホールは工事本格化による増額。
消費的経費		27,216,847 (26,153,146) +4.1%	エネルギー価格高騰に伴う市有施設の光熱費や施設運営にかかる委託料の増額。

このほかに、インド、米国、台湾等の海外との産業連携の推進事業として1,168万円、松江発の新たな事業創出を図るとして、MATSUE 起業エコシステム推進事業に2,000万円、新規就農支援に2,886万円などの産業支援や、上宇部尾町に整備予定の中海スポーツパークの整備事業に1億8,851万円、市内の公園整備事業に2,305万円など市民の皆さんが集う場の整備にも力を入れる内容となっています。これまではコロナ禍対応に追われた3年間でしたが、今後は社会活動や経済活動が動き出すことを見据えた予算編成や政策が執行されることとなります。

令和5年度一般会計予算の主なもの

(単位:千円)

事業類別	予算額	概要	事業類別	予算額	概要
新型コロナウイルス感染症対策	898,180	PCR等の検査費、衛生用品購入費、健診等の分散実施経費、その他感染症対策のための経費。	全国椿サミット開催事業費	8,850	第34回全国椿サミット松江大会を開催し、市花の椿の魅力発信と振興を図り、松江を全国にアピールする。
職人商店街創出事業費	15,000	中心市街地に多彩な伝統工芸が集まる「職人商店街」の創出を目指し、既存店舗の改築、拠点施設の整備等を支援する。	総合文化センター整備費	1,466,130	総合文化センター改修にあわせ、プラバホールと中央図書館が市民に親しまれ活用されるよう環境づくりを行う。
カラコ工房リニューアル	356,090	老朽化したカラコ工房の改修にあわせ、中心市街地の拠点として活用されるよう、機能を拡充・強化し魅力の向上を図る。	AIデマンドバス導入事業費、他	51,520	松江市地域公共交通計画の策定と、AIデマンドバスの対象エリア拡大に向けた準備を進める。
城下町・水の都魅力発信事業費、他	85,000	MATSUE観光戦略プランを強力に推進するため、「城下町」「水の都」などにスポットをあてた事業を展開する。	東出雲複合施設整備事業、他	666,550	行政機能等を集約した複合施設の整備及び老朽化した施設の建替えにより、地域住民の利便性、サービス向上を図る。
子育ての日イベント事業費	6,500	令和5年11月19日を「松江の子育ての日」とし、親子で楽しめるイベントを開催する。	住生活基本計画推進事業費	5,610	松江市住生活基本計画に基づき、市民の住生活環境の改善・向上を図る。
ICT活用教育推進事業費	431,890	一人ひとりの教育ニーズに対応した学びや主体的に伝え合い学び合う子どもの育成の実現のため、ICT環境を整備強化する。	中海・宍道湖・大山園域市長会事業負担金	36,670	松江・出雲・安来・米子・境港5市と大山園域7町村が連携し各種事業に取り組み、一体的な発展を図る。

国の補正予算に呼応し切れ目なく事業実施

令和4年度
一般会計補正予算

令和4年度一般会計補正予算は、総額19億6千万円余で、国の補正予算に呼応し、切れ目なく事業実施できる予算となっています。

国の補正予算に呼応するものとして、子どものバス置き去り事故を受け、その防止策としての安全装置設置や、揖屋小学校校舎の長寿命化整備費、学校給食センターの空調設備整備、児童クラブ施設整備などが盛り込まれています。また、新型コロナウイルス感染症や燃料費高騰の影響を受けた施設について指定管理料を補填するとして3億4,884万円が計上されています。

令和4年度一般会計予算の主なもの

(単位:千円)

事業類別	予算額	概要
子どもの安心安全対策補助費	56,040	送迎用バスへの安全装置の導入。子どもの見守りタグの導入。登園管理システムの導入。
揖屋小学校整備事業費	231,960	国の補正予算にあわせ、揖屋小学校の長寿命化工事を前倒しし、体育館の改修を行う。
学校給食施設整備費等	434,500	幼稚園、小中学校、給食センター等の空調設備の新設及び更新、トイレの改修工事を実施。
児童クラブ施設整備費補助金	28,330	八雲地区での児童クラブ施設を整備する事業者に対し補助金を交付する。
国・県土地改良事業負担金	67,550	圃場やため池の整備を行う。
ロボット等導入支援事業費	7,050	障がい福祉分野での労働環境の改善等を目的としたアシストスーツやタブレット等の導入支援。
松江市観光施設管理運営費	348,840	新型コロナウイルス感染症及び燃料費高騰の影響を受けた施設等について、指定管理料の補填を行う。
感染症対策、物価高騰対策	88,090	新型コロナウイルス感染症や電気・ガス・食料品等の価格高騰への対策として支援を行う。

◆◆◆ 代表質問概要 ◆◆◆

物価高騰への対応

問 海外生活も経験された市長の目には、日本のこれまでの歩みがどのように映っていたのか。エネルギー価格高騰等により中小零細企業は大きな影響が出ている。実態把握されているのか。また、対応策の考えはあるか。市民生活支援のために水道料金減免を再度される考えはないか。

答 日本企業は旧態依然とした経営のままであることから、国際競争力は凋落の一途の状況にあると見ていた。国際的に活躍できる人材の育成等が不可欠であると考えている。エネルギー価格高騰は市内企業の大きな負担となっていると認識している。企業の資金繰り支援として融資制度も創設していく。水道料金減免について、国から交付金を受けた場合、市民ニーズに対応し活用したい。

産業支援と雇用対策

問 MATSUE 起業エコシステムコンソーシアムについて、これまでの起業・創業支援との違いや特徴的なことはなにか。企業の人材育成のためのアドバイザー派遣の支援の考えはないか。

答 アイディア段階からの相談や専門性の高い助言、次世代育成など、起業・創業の初期の段階からの支援が特徴的なことである。人材育成のためのアドバイザー派遣について、ものづくりアクションプランにおいて人材確保・育成支援制度を設けており、これまでもアドバイザー派遣を行っている。

子どもの虐待

問 静岡県内の保育所で発生した子どもの虐待について、松江市の状況や対応はどうか。保育所職員の労働環境はどうか。保育所に限らず介護や医療現場での管理体制は如何か。

答 市が特別監査を実施し、実態把握した上で適切に指導している。虐待があった場合、再発防止に向けた指導を行い、是正報告書の提出や継続的な監査を行っている。保育施設の労働環境について、協定時間を超える時間外労働は指導を行い改善策の報告を求めている。保育施設における人員不足については ICT 導入や国への改善要望を引き続き行っていく。介護や医療現場、学校においても同様な対応を講じていく。

学校図書館活用教育

問 改修工事に伴い揖屋小学校の図書室が「ラーニングコモンズ」に変わるが、どういったものなのか。どのような効果が期待できるか。学校図書館活用教育を更に推し進めていく考えはあるか。

答 従来の学校図書館に ICT による検索機能などを加え、更には子どもたちにとって居心地の良い自由度の高い空間となっている。読書としての空間は勿論、子どもたち自らが情報収集やグループ討議などできるようになっている。学校の ICT 化が進む中、揖屋小学校の取り組みを検証し、学校図書館活用教育の進展につなげていく。

台湾との交流事業

問 2度にわたる台湾訪問について、どのような収穫があったのか。IT分野での新たな可能性はあるか。半導体工場の誘致の考えはどうか。

答 1月の訪台は、春節前建国花市におけるボタンのPR、蒋万安台北市長との経済交流に関する意見交換など、今後の連携に向けた足掛かりをつく

ることが出来た。2月の訪台は、宿泊・観光事業者と現地旅行会社との商談、サイクリング関係者との意見交換などで、本市の観光資源などの魅力を発信することが出来た。IT分野について、台湾はIT産業振興に加え、スタートアップ企業支援にも注力しており、Rubyを活用した交流の可能性を探りたい。半導体工場の誘致について、半導体に限らず、将来成長が見込まれる産業分野における企業立地の促進に取り組んでいきたい。

岩田ひろたか氏4期目当選

島根県議会議員選挙結果
2023年4月9日執行



4期目の当選を果たした「岩田ひろたか」県議会議員

4月9日に投開票された島根県議会議員選挙松江選挙区において、国民民主党島根県連幹事長である「岩田ひろたか」氏はみごと4期目当選することができました。今回の選挙は新人が4人立候補し、2名オーバーの激戦となりましたが、堂々の5位当選でした。

岩田県議は、みんなの「今」を幸せにしたいという思いを訴え、そして、日本の人口のわずか0.5%しかいない島根県こそが、中央に向けて、課題発信をしていかなければならず、そのための議員を選ぶのが今回の選挙だと強く訴えました。

民社協会東出雲支部は、森本市議、岩田県議とともに、地方の声を地方行政だけでなく中央にも届けてまいります。

6月議会日程

一般質問（6/26～28）は、マーブルテレビで放映されます。またYouTubeでも見れます。議会傍聴はどなたでもできます。本会議は議場で、委員会室は第1委員会室、第2委員会室で行われます。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせ下さい。



日曜日	6/20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
日曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	本会議（会期決定・提案説明）						本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問・委員会付託）	総務委員会・分科会	教育民生委員会・分科会			経済委員会・分科会、建設環境委員会				予算委員会（分科会長報告・討論・採決）						本会議（委員長報告・討論・採決）開会

民社協会東出雲支部・森本ひでとし後援会では、皆さまからのご意見等をお待ちしております。
（三菱農機労組内）

TEL0852-52-2743

FAX0852-52-5688

森本情報はこちら

